

- 2 医療費が18歳まで無料に
- 3 厚木市議会議員選挙
- 4-5 特集 地元食材を地元で消費
厚木の農産物を食卓に
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

それでも、牛と

午後の光が差し込む牛舎で、牛たちが干し草を食んでいます。食べやすいように草を集めているのは小野晴巳さん（64・荻野）。毎日朝・夕の決まった時間に乳を搾り、餌をやり、牛舎を掃除する。牛と共に暮らす日常を、45年にわたり続けてきました。

市内では8軒の酪農家が生乳を出荷しています。しかし現在、酪農家の経営は全国的に厳しい状況に置かれています。コロナ禍やウクライナへの軍事侵攻などの影響で、飼料が以前の2倍近くまで高騰。光熱水費の値上がりも追い打ちをかけています。小野さんは「苦しくても、牛は生き物だから、世話をやめるわけにはいかない」と、複雑な面持ちで牛たちを見つめます。牛乳や乳製品は、私たちの食卓に欠かせない存在です。牛乳を取り入れて酪農家を応援しましょう。

☎農業政策課 225-28001

6月は牛乳月間

牛乳や酪農への関心を高めるため定められました。市内でも、牛乳をPRするキャンペーンを実施します。

■市民朝市で酪農家応援キャンペーン

日時 6月18日 6時～
場所 文化会館駐車場
内容 乳製品の販売、啓発物品の配布

愛TV / 6/1～